

新年のごあいさつを 申し上げます



山都町議会議員 工藤 文範



山都町長 梅田 穰

平成28年熊本地震からの復興もまだ道半ばであるにもかかわらず、6月には集中豪雨が発生し、大変な被害を受けました。また、昨年の九州北部豪雨など度重なる自然災害や緊迫する国際情勢を顧みても、まさに息をつく暇もない一年

新年明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春を迎えることと、心よりお喜び申し上げます。また、旧年中は、町政運営に当たり、温かい御支援と御協力を賜り、心から感謝申し上げます。まずは昨年のおいしい話題として、商店街の空き店舗を活用し、地方創生に取り組む「株式会社MARRUKU」と、企業立地の調印式を行いました。27年度から進めていた光インターネットの整備も、今年の4月には完了し、町内全域がサービス提供エリアとなります。その活用の端緒ともいえる民間企業に進出していただいたことは、新たな雇用の創造や人材育成につながり、地域経済を活性化するものと大いに期待しています。他方、世間で注目を浴びたオスプレイの夜間飛行訓練を含めた日米共同訓練が、大矢野原演習場で行われました。オスプレイを使った夜間飛行訓練の実施は九州初であり、訓練の詳細公表が実施の1ヶ月前にしかなされず、周辺住民の不安をよそに訓練が始まってしまい大変心配しました。

が、無事に訓練が終了し安心したところ。さて、昨年3月の町長就任後、他にはないオンリーワンの町、山都町ならではの「山の都」づくりに取り組みするため、移住定住対策・総合体育館建設・農業の振興と3つのプロジェクトを速やかに立ち上げました。

3つ目の農業の振興については、駆除した有害鳥獣を貴重な資源として、処理加工から販売まで行う「ジビエ工房やまと」が営業を開始しました。今後、町の特産品として位置付け、各方面へ売り込んでいきたいと考えています。また、有機農業に関して、県内でございました。しかしながら、このような中でこそ、今ある課題を一つ一つ丁寧に解きほぐし、また、すぐ隣にある小さな幸せを大切に守り抜くという姿勢こそ、決して見失ってはならないと殊に感じる日々でございます。

初となる「くまもとグリーン農業推進宣言」を行いました。町の新たな農業政策として、スタートラインに立ったところであり、今後、様々な展開を図っていきたく考えています。

皆さま、また町職員の皆さまにも心身ともに大変厳しい期間であったことと存じます。しかしながら、全国からの温かな御支援を賜り、また皆さまの復旧復興に向けた切なる願いと行動により、本町は、確実に輝かしい未来へと歩みを進めております。議会としましても、今この時代に議会の果たすべき役割と責任を自覚し、町民の皆さまに寄り添った品位ある議会運営、また「山都町らしさ」の溢れる町づくりのために、議員一同全力を尽くしてまいります。

結びに、この新しい年が、町民の皆さまにとりまして実り多き一年となりますことを、心より御祈念申し上げます、年頭のごあいさつとさせていただきます。



この3つのプロジェクトを展開しながら、震災の爪あとが、まだまだ残っているライフラインの要である道路や、基幹産業である農業の基盤となる農業施設等の復旧のために引き続き全力を尽くしていきます。

これまで町内各地域の様々なイベントや会合などに出向き、町民や関係者の皆さんから多くの言葉を頂きました。それらを踏まえ、本年も、山都町に住み、また関わられるすべての人々の幸せと、町内事業所の活躍、そして本町の更なる発展のため、全力を尽くす決意を新たにしたいところであり、「ゆたかな町づくり」を目指し、まい進してまいりますので、一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

最後に、皆さまにとりまして、本年が素晴らしい年となりますことを心から御祈念申し上げます、新年のあいさつといたします。本年もどうぞよろしく願います。